

お口の健康情報室

今回は、子供の虫歯についてです。2019年度の統計によると、12歳の永久歯では1人当たり0・7本の虫歯があります。30年前と比べ4本以上減っています。歯磨きの重要性が浸透し、食後の歯磨きが習慣になったからだと考えられます。

一方で、新型コロナウイルス感染症拡大による長期休校や自粛生活で、生活のリズムを

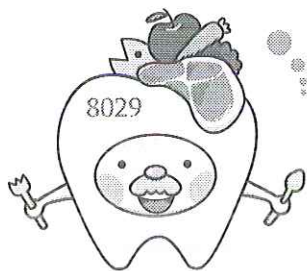
子供の検診 定期的に

崩した子供の虫歯が増えていくという指摘があります。間食が増えたり、だらだらとジュースを飲んだり、虫歯になりやすい生活になっていませんか。定期検診を自粛して虫歯の発見が遅れてしまうケースもあるようです。

永久歯に比べて歯の表層を守るエナメル質が薄い乳歯は、虫歯の進行で神経の炎症を起こしやすく、生え替わって間もない永久歯も表面が溶けやすいので注意が必要です。砂糖を摂取する機会を減らし、食後に歯みがきを欠かさないことが予防につながります。

歯科医院での定期検診やフッ素の塗布も、子供の虫歯予防の基本です。歯科医院では十分な感染予防対策を行っていますので、自粛せずに受診しましょう。

(千葉県歯科医師会)



「8029運動」PRキ
ャラクター もぐじい